第６回埼玉県中学生空手道冬季大会　兼　第１９回全国中学生空手道選抜大会代表選考会

**審判・監督　会議　確認事項**

**■形競技について**

①ベスト8を決めるまではトーナメント・フラッグ方式で行い、 ベスト8は得点制とする

②使用する形は（公財）全日本空手道連盟　空手競技規定の 「付録15：全空連指定形リスト」、「付録16：全空連得意形リスト」 から選択しなければならない

③各回戦で使用する形は下記のとおりとする

1回戦からベスト16を決定するまでは「第1指定形」（繰返可）

ベスト16は「第2指定形」

ベスト8（得点制）は「得意形」(それまでに使用した形は使用不可）

※参加人数により形数が変更になる場合もある

④１回戦から、ベスト８を選出するまでは、２名同時演武とする。ベスト８からは、得点制により一人演武となる

⑤入退場については、下記の通りとする

・呼名なし　開始合図なし　　勝者コールなし（モニターにて勝者点滅）

・モニターに形名・名前が出たら斜め入場　※モニターの表示に間違いがないか確認をして入場すること

・礼をし、形名を告げたら演武を開始する

・演武終了後場外にさがり、判定を待ち、判定後はすみやかに退場

・ベスト８に残った選手は、形エントリーシートに記入提出、演武順抽選あり（ベスト８に残った選手はＴＭが抽選場所まで誘導する）

**【注意事項】**

1. ２人同時演武時に接触や中断は減点の対象としない
2. 足をならす、胸や腕または空手衣を叩く、むやみに息を吐きだす等は、大幅な減点行為となる
3. 各回戦で使用できる形については、ＴＭが競技開始前に選手に確認すること
4. 競技についての質問は、ＴＭのみが対応すること

**■組手競技について**

①トーナメント方式とし、3位決定戦を行う

②6ポイント差とし、競技時間は1分30秒フルタイムとする

1. １０カウントルール採用する
2. 安全具は下記のとおりとする。なお安全具は全空連検定品であること



**【注意事項】**

①同じ競技者が連続して競技する場合は、競技時間と同じインターバル（１分３０秒）を与える

　赤青帯を変える場合等、選手は速やかに行動する

②負傷による退場で勝利した選手は、大会ドクターの許可がない限り競技の続行不可となる

**メディカルシートの取り扱いについて**

①テーピングの使用は、試合前に大会ドクターの診断を受けること

　※大会ドクターは、メディカルシートに日付・内容・サインを記入します

　　➡選手は競技開始前にTMもしくは主審に提出　➡各コートで確認➡選手に返却

②大会出場中は、各自で保管していること

**【その他注意事項】**

①赤帯・青帯は、（公財）全日本空手道連盟検定品とする

②選手は各自で帯を持参すること（帯に氏名、所属等の表示を認める

③帯止めは使用しない

④選手服装について

　　・選手は、競技規定にそった清潔な白の空手着を着用すること

　　・胸マークは所属学校名（１５㎝×７㎝程度）を標記した規格のものを左胸に縫着する

　　・空手着の上衣腰部の紐は結ぶこと。空手着胸部に紐はつけない

・ゼッケンはA5サイズとし、学年、出場競技、氏名を記載する

・ヘアクリップ、金属製のヘアピンの着用は禁止

シングルポニーテールに１つ又は２つの控えめなゴムバンドの使用は許可

　　・選手は、品位ある態度で競技に臨むこと。 選手は、染髪および脱色、ピアス、過度の空手着の変形等、 競技者と

してふさわしくないと判断された場合、参加を取り消す

⑤監督服装について

・監督の服装は、空手着とする（胸マークは郡市連盟名とする）

・大会当日は、受付時に監督ＩＤ（当日限り）を配布する

・会場内ではＩＤカードの常時携帯（首掛け）すること

・監督、指導者は、子供たちの模範となるような態度でお願いします